

(別添1)

No.	02
策定年月	令和2年6月
見直し年月	令和4年6月

水田農業高収益化推進計画

青森県

1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

本県の令和3年の水田面積は、7万9,200haで、このうち約6割に当たる3万4,200haで主食用米が作付けされている。

このほか、飼料用米や備蓄米、加工用米など非主食用米は約1万6,000ha、飼料作物は約7,701ha、大豆は約4,400ha、野菜は、大区画化や排水改良などの基盤整備を進めながら作付を拡大しており、にんにくやごぼうなど約3,800haが作付けされている。

このような状況の中、生産者の収益確保を図り、水田機能の維持と収益力向上を進めていくためには、省力化が可能であり、輪作体系に組み込むことで次期作物の生産性向上に寄与するほか、国内需要が高い子実用とうもろこしの取組拡大が必要である。

2. 目標

(1) 推進方針

子実用とうもろこしを推進品目として位置付け、関係機関による栽培指導などにより生産性の向上を図り、つがる市と七戸町の2産地を創出する。
つがる市の目標単収は、青森県畜産試験場の「パイオニア106日(36B08)」に係る試験結果より941kg/10aとし、令和10年度まで段階的に引き上げる。七戸町の目標単収は、県内の先行事例であるつがる市の取組から、これまでの平均単収623kg/10aとする。

(2) 推進品目

品目名	用途	露地 ／ 施設	選定理由	目標							
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
子実用とうもろこし	飼料用	露地	つがる市では、東京の大手商社と契約しているため、出荷先は確保されている。周辺に子実用とうもろこしの産地はないため、産地間の競合はない。また、面積、単収ともに計画達成しており、ロットは確保されている。 七戸町では、県内大手の飼料会社と出荷契約を結んでおり、出荷先は確保されている。周辺に子実用とうもろこしの産地はないため、産地間の競合はない。また、関係機関が一体となって支援することで、計画達成を目指しロットの確保を図る。	17.3 ha	63.1 ha	725.0 kg/10a	681.5 kg/10a	4,151,730 円	14,205,090 円		
				(令和3年)	(令和8年)	(令和3年)	(令和8年)	(令和3年)	(令和8年)	(令和〇年)	(令和〇年)

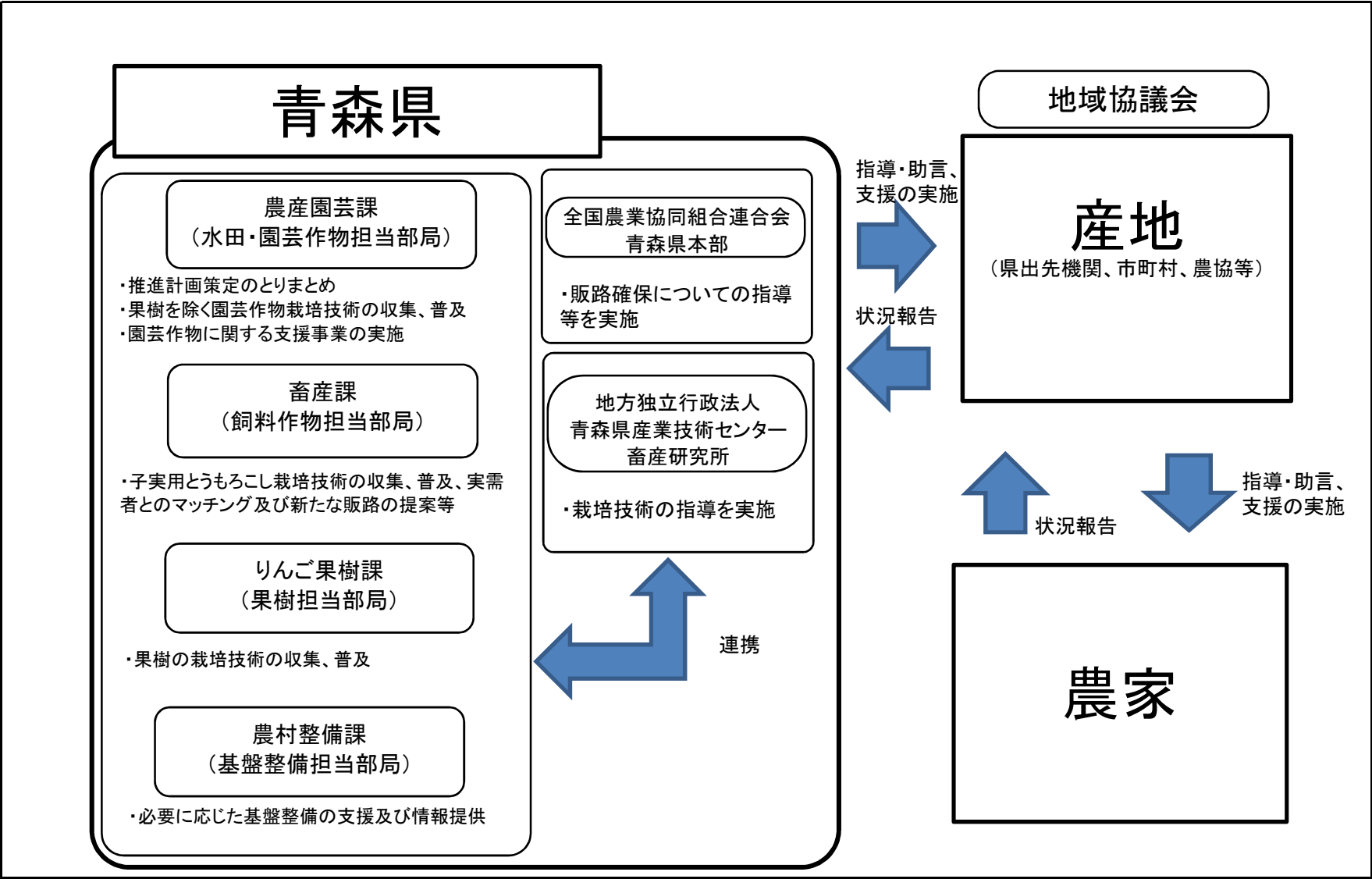
※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合、項目を分けて記載する。

※ 「選定理由」欄には、①出荷先が確保されているか、②既存産地等との競合により需給バランスに乱れが生じないか、③ロットは確保できるかなどの観点にも留意して記載する。（関係資料の添付でも可。また、審査に当たって追加資料の提出を求めることがある。）

※ 設定した目標値の妥当性が分かる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

3. 推進体制及び役割



4. 目標達成に向けた取組

(1) 品目共通の取組

各地域農業再生協議会を巡回し、水田農業の高収益化に向けた取組を働きかける。
また、産地同士で情報交換を密にすることで互いのレベルアップを図るとともに、その情報を他の地域再生協議会に提供することで高収益作物の取組拡大を図る。

(2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
子実用とうもろこし	2産地に対して計画どおり面積拡大するよう働きかけ、課題が発生した場合は、関係機関一体となって解決に取り組む。 また、周りの生産者に情報提供し、取組者数の増加を図る。	額縁明きよによる排水対策等関係機関による栽培技術指導を徹底する。	作付面積拡大と単収向上により販売額の確保を図る。 また、品質とロットを確保することで、実需者との信頼関係を構築する。	

5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
1	つがる市	つがる市	
2	七戸町	七戸町	

※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

No.	02-001
策定年月	令和2年6月
見直し年月	

(別添2)

水田農業高収益化推進計画
つがる市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	つがる市
構成機関・団体名及び役割分担	西北地域県民局及び青森県産業技術センター つがる市 ごしょつがる農協 つがる市農業委員会 西土地改良区 支援事業、栽培技術等の情報提供・指導 ・販路情報の収集と提供 ・支援事業の実施 ・計画策定のとりまとめ ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・水田農業高収益化推進助成等 に係る事務 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 ・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理 ↓ ↑ 取組農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
子実用とうもろこし	飼料用	露地	出来島地区	12.3 ha (令和元年)	15.0 ha (令和4年)	559.3 kg/10a (令和元年)	726.0 kg/10a (令和4年)	2,401,000 円 (令和元年)	3,811,500 円 (令和4年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	02-002
策定年月	令和4年6月
見直し年月	令和 年 月

水田農業高収益化推進計画
七戸町産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	七戸町
構成機関・団体名及び役割分担	上北地域県民局 七戸町 七戸町農業委員会 七戸町農業再生協議会 ゆうき青森農協 十和田おいらせ農協 ・支援事業、栽培技術等の情報提供・指導 ・計画策定のとりまとめ ・農地集積・集約の推進 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・水田農業高収益化推進助成等に 係る事務 ・必要に応じて営農指導を実施 ↓ ↑ 取組農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
子実用とうもろこし	飼料用	露地	七戸地区	0 ha (令和3年)	16.0 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和3年)	623 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和3年)	2,990,400 円 (令和8年)	(令和〇年)	(令和〇年)
子実用とうもろこし	飼料用	露地	天間林地区	0 ha (令和3年)	32.1 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和3年)	623 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和3年)	5,999,490 円 (令和8年)	(令和〇年)	(令和〇年)

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。